

文教厚生委員会資料

教 育 委 員 会

令和4年4月13日

報告事項

1. 新型コロナウイルス感染症への対応について … P 1
2. 教員不足の状況と対策について … P 3
3. 文化財（登録有形文化財）の登録について … P 7

新型コロナウイルス感染症への対応について

1. 部活動における感染対策の強化（令和4年3月16日）

県内における新型コロナウイルス感染症の拡大が高止まり傾向にあり、特に学校及び児童福祉施設におけるクラスターの発生も増加し、この年齢層の感染拡大が収まらない状況。

春休みに入ると学校の教職員の人事異動による県内移動を含め、社会全体の人流が活発になることから、年度末にかけて感染拡大のリスクが一層高まることが懸念される。

こうした状況を踏まえ、年度末における感染拡大を抑え、進級や入学といった大きな節目を迎える学校において、4月からの学校行事や事務にできるだけ支障が生じないよう、次のとおり県立学校における部活動の制限を強化。

(1) 制限強化期間

令和4年3月25日から3月31日まで

(2) 制限強化の内容

部活動の原則停止

(3) 特例とする扱い

- ① 大会・演奏会への参加は、公式大会等で、学校長が認めるもののみ可。特に、感染拡大地域で開催される大会等への参加については、次の事項を徹底
 - ・ 主催者等が示す感染症対策を確認の上、必要性を十分に検討
 - ・ 参加に当たっては、生徒・保護者の意向を確認
 - ・ 必要最小限の人数での参加、万全な感染症対策
 - ・ 帰県後、一定期間（14日程度）の健康観察と健康管理は、教職員が直接生徒本人に確認 等
- ② 4月10日までの間に、校長が認める公式大会に出場するチーム・個人に限り、大会に向けた通常の活動及び練習試合等の実施可

(4) その他（知事から市町村等への要請内容）

- ① 各市町村立学校の部活動においても、それぞれの地域における感染状況や学校での感染状況に応じた対応を検討するよう、各市町村に要請

[各市町村の対応状況]

対応状況	該当市町村	具体的対応内容
県に準じた対応	松江市、出雲市、益田市、安来市、奥出雲町、海士町	(上記のとおり)
独自の判断基準による対応	浜田市、大田市、江津市、雲南市、飯南町、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町	市町村外校との活動禁止、他校との活動禁止、土日活動禁止 等

- ② 私立の中学校・高校、国立の義務教育学校などにも、公立学校と同様の対応を検討するよう、要請あり
- ③ スポーツ少年団等の小中学生を対象とした活動においても、部活動と同様に、地域における感染状況などを踏まえ、活動の停止や感染リスクが高い活動を制限するなど、感染拡大防止への協力を、県民に呼びかけ

2. 県立学校の寄宿舎における対応

全国的に感染拡大状況が継続していることから、県立学校の寄宿舎における感染防止対策に万全を期すため、県立学校運営ガイドライン等に基づく対策に加え新学期に向けて帰寮・入寮する寄宿舎生のうち、希望する者全てを対象とした、県費負担によるPCR検査を実施（令和4年度当初予算対応）

(1) 対象（県内出身・県外出身を問わない）

- ① 春季休業中に帰省した全ての寄宿舎生のうち、希望する者
- ② 新たに入寮する全ての寄宿舎生のうち、希望する者

(2) 実施期間

令和4年4月1日から4月16日まで

(3) 実施方法等

- ・ PCR検査キットをあらかじめ各学校に配布し、希望者は帰寮後・入寮後に検体採取、結果が出るまで寄宿舎内で徹底した感染対策を取りながら過ごす
- ・ 検査しない場合は、帰寮後・入寮後の健康観察及び感染対策の徹底を、2週間程度を目処に実施

教員不足の状況と対策について

1. 公立学校における欠員状況

- (1) 令和4年4月1日現在の欠員は、全体で32人（R3：29人）。
- (2) 学級担任に欠員はない（小・中・高・特支）。
- (3) 学校単位で教員不在教科はない（中・高・特支）。
- (4) 学校全体で業務を分散できるよう、欠員は主として大規模校に振り分け。

（ ）は令和3年4月1日時点の数値

	1年期限付き任用	1年未満の短期任用 (産休・育休代替等)	計
小学校	8人 (14人)	8人 (7人)	16人 (21人)
中学校	6人 (2人)	2人 (1人)	8人 (3人)
高等学校	1人 (2人)	7人 (2人)	8人 (4人)
特別支援学校	0人 (1人)	0人 (0人)	0人 (1人)
計	15人 (19人)	17人 (10人)	32人 (29人)

2. 教員不足の要因・背景

近年の大量退職や特別支援学級の増加、学校の抱える課題の複雑化・困難化を背景とした手厚い教員配置（県単独事業を含む。）などにより、毎年、多数の教員確保を行う必要がある一方で、県内人口の減少、教員志望者の減少等により、必要数に見合った教員のなり手を確保できない状況が続いている。

教員志望者減少の背景には、時間外勤務を含めた勤務環境への懸念も存在していると考えられることから、教員不足を解消するためには、教員確保に向けた取組と働き方改革を車の両輪として進めていく必要がある。

【参考】関連データ

	必要教員の主な変動要因			退職・採用・再任用				
	増要因		減要因	④ 退職者	新規採用者			⑧ 再任用者 (名簿登載者)
	① 特別支援 学級数 (対象児童 生徒数)	② 少人数学級 編制の県単 加配	③ 児童生徒数		⑤ 採用者 (名簿登載者)	⑥ 受験者数	⑦ 倍率 (名簿登載者)	
H13	367 (609)	0	93,019	206	98 (100)	1,497	15.3 (15.0)	0
H23	492 (1,059)	57	75,006	188	159 (167)	1,220	7.7 (7.3)	23 (23)
H24	499 (1,069)	43	73,348	235	156 (166)	1,218	7.8 (7.3)	31 (41)
H25	511 (1,097)	48	72,363	235	164 (167)	1,152	7.0 (6.9)	44 (54)
H26	504 (1,129)	98	71,379	263	226 (233)	1,180	5.2 (5.1)	50 (52)
H27	524 (1,184)	127	70,335	259	225 (230)	1,251	5.6 (5.4)	81 (86)
H28	537 (1,272)	175	69,697	294	209 (216)	1,204	5.8 (5.6)	133 (141)
H29	534 (1,306)	179	68,858	290	216 (216)	1,184	5.5 (5.5)	168 (198)
H30	554 (1,468)	193	68,156	303	245 (264)	1,142	4.7 (4.3)	203 (242)
R1	578 (1,527)	198	67,565	304	265 (278)	998	3.8 (3.6)	271 (300)
R2	614 (1,672)	179	67,031	316	260 (284)	1,042	4.0 (3.7)	307 (339)
R3	617 (1,783)	136	66,409	363	280 (302)	906	3.2 (3.0)	379 (406)

※①～③は、5月1日現在の数値、④は当該年度末の数値、⑤⑧は翌年度4月1日の数値

(参考) 少人数学級編制の変遷

H15 : 小1 30人学級導入

H16 : 小2 30人学級導入

H26 : 小3・小4・中1 35人学級導入

H27 : 小5・中2 35人学級導入

H28 : 小6・中3 35人学級導入

R3 : 小2 32人学級、中3 38人学級に変更、国学級編制基準変更 : 小2 35人

R4 : 中2 38人学級に変更、国学級編制基準変更 : 小3 35人

3. 教員確保に向けた取組

再任用者等の確保を通じて大量退職の影響を緩和するとともに、教員採用試験の見直しや募集広報等の強化により新規の人材確保を推進する。また、教員志望者の裾野を拡大する観点から、県内大学・高校と連携した取組を推進する。

(1) 再任用者等の確保

- ・ 退職予定者及び既退職者への働きかけや広報の強化、再任用管理職制度の創設、指導主事・社会教育主事としての再任用促進により、令和4年度は、406人（前年度+67人）を再任用として確保した。
- ・ 常勤での勤務が困難な者についても、非常勤講師として配置し、授業実施者の確保、正規教員の授業時間数減による負担軽減を図っている。
- ・ 今後、退職教員のニーズを踏まえた働き方の選択肢拡大等を通じて、更に再任用者等の増加を図っていく。

(2) 教員採用試験の見直し

- ・ 令和4年度実施試験では、一般選考試験において過去最大の312名程度（前年度+30人）を募集するとともに、別途、特別選考試験を実施。特別選考試験の合格者等に対して、令和4年度途中での採用も働きかけていく。
- ・ 受験者数の増加、即戦力となる中堅層の採用促進、教員としての資質能力のより的確な把握等を図る観点から、令和4年度実施試験から、教員採用試験の在り方を大きく見直している（下記参照）。

【教員採用試験の主な見直し内容】

- ① 1次試験の内容見直し（一般教養廃止、教職教養簡素化、論述試験の新設）
- ② 2次試験の内容見直し（小論文廃止、面接時間拡大）
- ③ 受験機会の拡大（東京会場新設、2次試験における追試験実施）
- ④ 専門人材等の確保（小学校「特別支援教育担当」の新設、中学校の複数教科免許所有者への加点拡大、高等学校「情報」の出願要件緩和）
- ⑤ 特別選考試験の創設（国公立現職教員等のUターン・Iターンを促進。試験は面接のみ、GW中に実施）

(3) 募集広報等の強化

- ・ 県内外各地でのPV放映、歩道橋横断幕の設置、JR駅へのデジタルサイネージ掲示、バスラッピング、新聞広告、教員専門誌掲載、民間求人サイトの活用、SNSを活用したターゲティング広告、教員採用等に関するポータルサイト作成など、様々な手法を組み合わせながら、効果的な募集広報を実施。
- ・ 一般的な募集広報のほか、専門教科（例：高校・水産）に係る教員養成大学への個別のアプローチや、県外（都会）の退職教員のIターン促進など、ターゲットを絞った対策も実施。

(4) 教員志望者の裾野拡大

- ① 県内大学との連携強化（教育学部生等の教員志望割合増に向けた対応など）
- ② 高校生対象の教員志望セミナー実施
 - ・ 令和3年度：浜田高校、益田高校
 - ・ 令和4年度：浜田高校、益田高校、松江東高校(新規)、大社高校(新規)

4. 働き方改革

(1) 時間外勤務の状況

これまでの取組により、全校種とも時間外勤務は減少傾向にあり、令和2年度は目標値（全校種平均で月45時間以内）を達成。令和3年度の状況は調査中。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校	64.6時間	60.1時間	42.2時間
中学校	75.1時間	68.0時間	48.2時間
高等学校	75.8時間	66.4時間	49.6時間
特別支援学校	43.5時間	34.5時間	21.5時間
全校種平均	65.1時間	58.0時間	40.5時間

(2) 今後の主な取組

- ① 学校現場の負担軽減
教員委員会による調査等の削減・簡素化、会議・研修のオンライン化など
- ② 令和4年度実施事業
 - ・ スクール・サポート・スタッフなどの外部人材の配置及び効果的な活用
 - ・ 重点モデル地域・モデル校における研究実践
 - ・ 学校内での働き方改革のリーダー役養成【新規】
 - ・ 高校寄宿舎における外部舎監配置の推進【拡充】
- ③ 重点期間（令和元年度～3年度）における取組検証及び更なる対策の検討

文化財（登録有形文化財）の登録について

3月18日（金）に開催された国の文化審議会（会長 佐藤 信^{まこと}）において、県内に所在する登録有形文化財（建造物）1件の登録について、文部科学大臣に答申があった。

1. 有形文化財（建造物）の概要

○美保神社拝殿^{みほじんじやはいでん}

ア) 所 在：松江市美保関町美保関 608

イ) 所有者：宗教法人美保神社

ウ) 年 代：大正13年（1924）／平成10年（1998）改修

エ) 構造等：木造平屋建、柿葺^{こけら}

建築面積 203 m²

オ) 特 徴：桁行16メートル、梁間12メートルを超える切妻造り柿葺きの建物で、正面に千鳥破風^{ちどりばふ}の下屋^{げや}が取り付けられている。内部は石敷きで円柱を並べて厳かな空間を形づくるとともに、四面開放されて天井を張らずに整然とした小屋組をみせており、雄大な本殿（重要文化財、昭和57年指定）に相応しい、堂々としたつくりとなっている。建築史家伊東 忠太^{いとうちゆうた}が監修し、明治神宮造営局^{きむらよねじろう}技手木村米次郎が設計。



美保神社拝殿（北東側外観）



美保神社拝殿（内部、東側より望む）

2. 評価

港町として栄えた美保関に所在する、由緒ある神社に相応しい拝殿で、登録基準（一）の「国土の歴史的景観に寄与しているもの」として評価された。

3. 登録の件数

今回答申された建造物が登録された後、松江市内の登録件数は39件となり、県内の登録有形文化財（建造物）の登録件数は207件となる。

【参考】登録有形文化財について

1. 登録対象

重要文化財（国指定文化財）及び地方公共団体指定の文化財以外の有形文化財のうち、文化財としての価値が高く、保存・活用のための措置が特に必要とされるもの。

2. 登録基準

建築後 50 年を経過し、かつ次のいずれかに該当するもの

- (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- (二) 造詣の模範となっているもの
- (三) 再現することが容易ではないもの

※「国土の歴史的景観に寄与しているもの」

国土を形成する地方独自の歴史的景観を認識する上で特に必要な存在となっているものをいう。

例えば、絵画、写真、映画、文学、歌謡等にその存在が引用されているもの、地名の由来となるなど土地の理解と密接な関係を有するもの、特別な愛称等があるものなど、当該地方において広く親しまれているもの。